

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	母子保健相談指導事業	所管	保健福祉部 母子保健課
			TEL 2991-1811

事業の目的 (何の為に 行うか)	母子保健に関する正しい知識の普及、情報の提供を行い、妊娠・出産・育児に関する不安の軽減を図る。また、ともに育児をする仲間づくりのための支援を行う。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としているか)	①両親学級②母親学級③離乳食教室(ごっくん期・ぱくぱく期)の参加申込者④子育てサロン(10代・多胎・未熟児)⑤乳幼児健康相談の参加者	対象とした数	2,978	人
		実際に 利用した数	6,619	人

活動の内容	(何を したか)	①沐浴実習、ビデオ鑑賞、パートナーとできる妊婦体操等②妊娠中の保健と生活(栄養、歯科講話を含む)、新生児の保育、諸制度講話、調理実習等。③離乳食の進め方、試食、歯科衛生士の講話等。④10代:10代の妊婦・出産した母親・未就園児およびパートナーの交流会。多胎:多胎の妊婦・出産した母親・未就園児およびパートナーの交流会。未熟児:体重2,000g未満で生まれた未就園の児を育てている親の交流会。⑤計測、保健師・栄養士・歯科衛生士による相談を市内各公民館および保健センターで実施。							
活動実績	項目名	実施回数	111	項目名	参加人数	6619	項目名	参加申し込み数	7666
			----- 単位 回			----- 単位 人		----- 単位 人	

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	4,933	4,686	23,380	69.0

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	受講率	$\text{受講人数} \div \text{申し込み人数} \times 100$	100	86.3	86.3
			----- 単位	----- 単位	----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []			
		終了 ⇒ 事業完了		終了 休止	
	予算	* 現状どおり 増額		減額 終了	

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了				
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [] 終了			
	予算	現状どおり 増額		減額 終了	

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名	事業コード 040812	母子保健相談指導事業	担当部課	部課コード 040800	画	2991-1811
開始年度	昭和 48 年度	→	終了年度	平成 年度		

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令			
	分野別計画・指針	母子保健法						
	関連・類似事業	所沢市次世代育成支援行動計画						
	総合計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	6節 保健・医療	中柱	2 生涯を通じた健康づくりの推進	小柱

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)	母子保健に関する正しい知識の普及、情報の提供を行い、妊娠・出産・育児に関する不安の軽減を図る。また、ともに育児をする仲間づくりのための支援を行う。						
	対象(誰を、何を対象としているのか)	①両親学級②母親学級③離乳食教室(ごっくん期・ばくばく期)の参加申込者④子育てサロン(10代・多胎・未熟児)⑤乳幼児健康相談の参加者			利用数の考え方 事業に参加した人数			
	対象数	単位	平成 18 年度	2,998	人	平成 19 年度	2,978	人
	利用数	単位	平成 18 年度	6,873	人	平成 19 年度	6,619	人

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	≪ 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ≫	
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])	
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了	

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		2,013	4,933	4,686
	決算(見込み含む)		1,925	4,686	
	(嘱託職員)	(臨時職員)	(人)	(1.66人)	(人)
	正規職員人件費		1.99人	18,308	18,694
	公債費				
	事業費合計		20,233	23,380	
	財源内訳	一般財源	20,233	4,933	4,686
		国・県支出金			
		受益者負担金			

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	実施回数	①12回②10回×3日間③24回④12回⑤44回	回	144	111	122	
	参加人数	各事業の参加延べ数	人	6,873	6,619			
	参加申し込み数	各事業の参加申し込み人数×各事業の回数	人	7,541	7,666			

⑦一次評価	評価項目	現状評価	現状評価	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	見直しの必要性
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などの整理・統合	受益と負担の関係	見直しの必要性
	明らかとなった課題			

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性	総合評価	予算	評価理由	
	二次年度用事前評価	部内優先順位...	非常に高い	高い	やや低い	低い
	優先度評価	A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業	B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業	C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業		
	評価理由	評価日				

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ...	無し	計画コード	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ...	有り	計画コード	1171
	基本目標	1子どもたちがたくましく生きていくための力を伸ばします			
	主要課題	1子どもたちの知識・能力の育成			